

「口腔－腸－唾液腺相関が示す 新しい健康像の提案と医療連携の必要性」



講師

神奈川歯科大学 病理・組織形態学講座
分子口腔組織発生学・環境病理学分野

梶木 恵一 主任教授

唾液は汚いものというイメージを持っている方が多いのではないのでしょうか。しかし、昔から、「ケガしたところは舐めておけ」というような事を聞いたことないですか。実は唾液には、細胞の傷を治す細胞増殖因子や抗菌・抗ウイルス物質などが含まれており、舐めることは決して間違いではないのです。唾液は99%が水分ですが、実は単なる水ではなく高機能性水なのです。口腔の健康はフレイルの予防になることから、口腔の健康維持は全身の健康に向けた大切な要因と位置付けられます。その口腔の健康を24時間支えている環境因子が唾液です。

本公演では、唾液の持つ機能性に焦点をあてて口腔の健康から全身の健康を目指す健康科学的意義と唾液力向上のための工夫を紹介します。

～ 略 歴 ～

1967年 12月 東京生まれ
1993年 3月 神奈川歯科大学卒業
2007年 4月より神奈川歯科大学教授
2013年 4月より神奈川歯科大学大学院研究科長
2014年 4月より神奈川歯科大学副学長
2021年 8月より神奈川歯科大学大学院附属
唾液科学研究所所長

専門は環境病理学、唾液腺健康医学、災害歯科医学。

日本病理学会認定口腔病理専門医・指導医。

テレビなどで口腔ケアの重要性と唾液の働きを唾液力と命名しわかりやすい解説が好評を得ている。

唾液中 IgA 増加メカニズムとして、腸管内で短鎖脂肪酸が重要な役割を果たす腸－唾液腺相関を発見し、唾液腺健康医学を提唱されている。日本唾液ケア研究会を立ち上げられた。

(著書)

「がん患者さんの口腔ケアをはじめましょう」(学建書院)

「唾液サラネバ健康法」(主婦と生活社)ほか。

申込方法

QRコードから
お申込みください。



令和4年

4月20日(水)

19:30～21:00

オンライン開催 Zoom ウェビナー

参加無料 ぜひ、ご視聴ください

主催:宮崎市口腔保健支援センター(一般社団法人宮崎市郡歯科医師会)

〒880-2102 宮崎市大字有田 1376 番地 TEL0985-41-8241